2024 年度　南山大学人文学部日本文化学科
卒業論文

熟字訓を持つ日中同形語について

―意味の分類と時代ごとの分布差―

清水ひなの

指導教員

平子達也　准教授

要旨

熟字訓を持つ日中同形語について

―意味の分類と時代ごとの分布差―

この論文は、日本と中国の代表的な国語辞典を使用し、熟字訓を持つ日中同形語の実態を調査したものである。熟字訓を持つ日中同形語について意味の分類をし、時代ごとの分布差を探ることを目的とする。熟字訓を持つ日中同形語について、辞書の記述に基づいて意味の分類を行う。その際、意味の分類の基準には文化庁（1978）による、S(意味がほぼ同じもの)、O(意味の一部は重なっているが、一部は異なっているもの)、D(意味が全く異なるもの)を用いる。調査の結果、熟字訓を持つ日中同形語はS語が最も多いことが明らかになった。これは先行研究で述べられていたように、日本語から中国に伝わった言葉、日本人が中国語の同じ概念を表す漢字を、訓読み語に当てた言葉が多く存在しているからであると考えられる。また、S語、O語、D語それぞれについて、初めて日本語の辞書や書物に掲載された時代別に整理すると、時代別の比率はS語、O語、D語でおおよそ似たような分布になることが明らかになった。特に平安時代、江戸時代、明治時代に分類される語が多く、反対に鎌倉時代、安土桃山時代、大正時代、昭和時代に分類される語は少なかった。

目次

１．はじめに……1

２．日中同形語と熟字訓の概要……1

２.１　日中同形語について……1

２.２　熟字訓について……2

３．先行研究のまとめ……2

４．調査方法と調査結果……4

４.１　熟字訓の抽出……4

４.２　日中同形語の抽出……5

４.３　S、O、D の分類……5

４.４　時代別の分類……7

５．おわりに……8

５.１　本稿のまとめ……8

５.２　今後の課題……9

参考文献……9

付表……10

１．はじめに

本稿では、「飛鳥（あすか）」や「五月雨（さみだれ）」、「麦酒（ビール）」などのように漢字の連続に共時的には分解できそうにない和語、あるいは外来語が読みとして当てられている「熟字訓」と呼ばれる表現について扱う。熟字訓とは当て字の一種だと考えることができるが、佐藤（1977）によると当て字には読み方で当てる類（表音的当て字）と意味で当てる類（表語的当て字）があるとされる。熟字訓は後者に属する。本稿では、この熟字訓を読みとして持つ日中同形語について、その意味の分類をし、時代ごとの分布差を探ることを目的とする。

日本語と中国語において、同じ漢字（本字か異体字かの違いは問わない）によって表記される語は、日中同形語と呼ばれる。文化庁（1978）は『中国語と対応する漢語』の中で、中国語との対応関係から、日中同形語を意味の違いに基づき分類した。

許（2014）は、日中同形語の量的分析を行っており、抽出した 12681 語のうち 23 語のみを当て字であるとする。しかし、当て字の基準が明らかではなく、また当て字に焦点を当てた意味の分類はされていない。

本稿は日本と中国の代表的な国語辞典を使用し、当て字のうち特に熟字訓に焦点をあてた日中同形語の実態を調査したものである。日本語は『新明解国語辞典（第八版）（2020）』、中国語は『近代汉语大词典（增订版）（2023）』、『白水社　中国語辞典（2002）』を使用した。これらの辞典を用いて日中同形語を抽出し、その中で熟字訓を持つものについて、辞書の記述に基づいて意味の分類を行う。その際、意味の分類の基準には文化庁（1978）による、S(意味がほぼ同じもの)、O(意味の一部は重なっているが、一部は異なっているもの)、D(意味が全く異なるもの)を用いる。結果、以下のようなことが明らかになった。

（1）　本稿の結論

a. 熟字訓を持つ日中同形語は S 語が最も多い。

b. 熟字訓を持つ日中同形語は S 語、O 語、D 語それぞれについて、時代別の比率はおおよそ似たような分布になる。

本論の構成は以下の通りである。まず、2 節で日中同形語と熟字訓の概要についてまとめ、3 節で先行研究についてまとめる。続く 4 節で調査方法と調査結果のまとめについて述べ、最後に 5 節で全体のまとめと今後の課題を述べる。

２．日中同形語と熟字訓の概要

２.１　日中同形語について

日本語と中国語には、同じ漢字（本字か異体字かの違いは問わない）で表記される熟語が多数ある。

大河内（1992）によると、いずれがいずれを借用したかを問わず、双方同じ漢字で表記さ

れるものを同形語と呼ぶとしている。特に日本語と中国語での同形語を日中同形語という。

また、竹田（2005）は曽根（1988）の「日中同形語」の分類についての研究を要約すると次のように分類できて、「日中同形語」が比較的明瞭に弁別できるとしている。

① 漢字の構造と意味が同様であるもの。いわゆる「同形同義語」。
② 漢字の構造は同様であるが、全く意味が異なるもの。いわゆる「同形異義語」。
③ 漢字の構造が同様であり、意味の一部が共通するもの。「同形類義語」。

本稿でもこの分類を参考にすることがあるが、日本語の「幾許（いくばく）」の同形語が中国語の「几许（几は幾の簡体字、许は許の異体字）」であるように、簡体字を含め、異体字か本字かの違いは問わないものとする。

2.2 熟字訓について

『国語学研究事典（佐藤 1977: 79）』によると、熟字訓は当て字の一部であるとされる。当て字には読み方で当てる類（表音的当て字[1]）と意味で当てる類（表語的当て字）があるとされ、熟字訓は後者に属するという。また、竹浪（1986: 295）によると、漢字の連続に、共時的には分解できそうにない和語、あるいは、外来語が読みとして当てられているものが、いわゆる「熟字訓」の典型としてあげられている。

これらの記述から、本稿では以下の〈熟字訓の定義〉を設ける。

〈熟字訓の定義〉
表語的当て字の一部で、飛鳥（あすか）、五月雨（さみだれ）、麦酒（ビール）などのように、漢字の連続に、共時的には分解できそうにない和語、あるいは外来語が読みとして当てられているもの。

3．先行研究のまとめ

許（2002）は、日中同形語の全体像を把握するため、『新明解国語辞典（第五版）』と『现代汉语词典（第五版）』から日中同形語を 12681 語抽出した。その日中同形語を抽出する際の基準として、許（2002: 114）は以下の 5 つをあげている

---

[1] 表音的当て字…①音訳―外国語の固有名や外来語の表記に漢字を表音的に用いる方法。（阿弥陀（アミダ）、亜細亜（アジア）、倶楽部（クラブ）、合羽（カッパ）など）②音借―①の中でも特に用文書 や好尚文芸など、漢字中心の文献に発達したもの。（急度（きっと）、出鱈目（でたらめ）など）②’部分的借字―言葉・葉書の「葉」や仲仕・仕事の「仕」なども当て字といえる。（分捕る、嫌味など）②”代用漢字―当用漢字表内の字による書き換えも一種の当て字である。（委縮（萎縮）、刺激（刺戟）など）（佐藤 1977: 79）

(2)　許（2002: 114）の日中同形語を抽出基準

a. 簡体、繁体を問わず、漢字源が同じであれば、同一漢字とする。【後略】

b. 日本語の場合、読み方を問わず、送り仮名がなく、漢字表記があるものをすべて取り扱い、《现汉》と対照する。

c. 日本語にいくつかの読み方がある場合、意味に大きな違いがない限り、音読み語だけ抽出する。【後略】

d. 日本語では二字語であり、中国語では四字熟語の一部でしかない語は抽出しない。【後略】

e. 日本語では、『常用漢字表』にない漢字を表内漢字に書き換える場合もあるが、もとの用字に変換してから《现汉》と対照する。【後略】

そして、許（2002）は、上記の基準に従って抽出した日中同形語を、その構成する漢字の数によって、二字語、三字語、四字語、五字以上の語に分け、二字語をさらに二字音読み語と二字訓読み語に分けた。各種類の語数は以下の表 1 のようになったという。

表 1　日中同形語の数

種類	二字音読み語	二字訓読み語	三字語	四字語	五字以上の語
語数	11651	267	502	243	18
比率（%）	91.88	2.10	3.96	1.92	0.14

二字訓読み語の 267 語のうち、語を構成する二つの漢字がともに訓読みである語がほとんどであるが、重箱読みの語、湯桶読みの語もいくつか入っている。その分類について表 2 にまとめている。

表 2　二字訓読み語の分類

読み方	語数	比率（%）	語例
訓読み	198	74.16	髪型　組合　毛皮　父親　手錠
重箱読み	28	10.49	暗箱　後手　地主　中型　棒球
湯桶読み	18	6.74	片面　釣具　手勢　手本　蜂蜜
当て字	23	8.61	田舎　蟷螂　七夕　千歳　雪崩

表 2 より、『新明解国語辞典（第五版）』と『现代汉语词典（第五版）』から抽出した日中同形語のうち当て字が 23 語あると分かる。ただ、語例は表 2 に記載されている 5 例のみで、しかも、どのような語を当て字としたのか、その明確な基準が示されていない。

また、より大きな問題は、(2c）にあるとおり、日本語にいくつかの読み方がある場合、意味に大きな違いがない限り、音読み語だけ抽出していることにある。そのため、2.2 で示

した熟字訓の定義に適合する読みを持っているにもかかわらず、「当て字」の一種である熟字訓を持っているものが抽出できていない可能性がある。また、上の（2b）で示した抽出基準にあるとおり、許（2002）は、日本語で送り仮名があるものについては扱っていない点も問題である。

本稿では日本語の側で、いくつかの読み方がある場合には、たとえ音読み語が他にあったとしても、熟字訓（当て字）を持つ日中同形語は全て対象とし、その意味の分類を行うこととする。

４．調査方法と調査結果

４.１ 熟字訓の抽出

熟字訓を抽出するにあたっては、基本的には許（2002）の基準に従う。ただ、前の節で指摘したとおり、許（2002）では日本語にいくつかの読み方がある場合、意味に大きな違いがない限り、音読み語だけ抽出しているのに対して、本稿では、日本語の側で、いくつかの読み方があり、たとえ音読み語が他にあったとしても、熟字訓（当て字）を持つものは全て抽出する。その手順は以下の通りである。

使用したのは『新明解国語辞典（第八版）』である。

『新明解国語辞典（第八版）』の編集方針（p.11）によると、「熟字の各字が日本語の複合語の各成分と一対一対応を示さないものについては、当該部分を｛ ｝で囲み」とある。以下 a、b はその例である。

a. **あす**【{明日}】
b. **つづらおり**…「{九十九} 折」とも書く。

｛ ｝内の語は**２.２**で定めた〈熟字訓の定義〉に当てはまる熟字訓であるといえるため、今回は『新明解国語辞典（第八版）』の｛ ｝内の語を熟字訓とし、抽出する。

また、抽出にあたって以下の三つの基準を設ける。

（3）熟字訓を抽出する基準

a. **おとつい**【{一昨} 日】、**おととい**【{一昨} 日】、**おととし**【{一昨} 年】など、読みが異なるものでも熟字訓に該当する部分が同じである場合、一項目とする。
b. **おいしい**【{美味} しい】など、送り仮名のある語も抽出する。
c. **たばこ**【{煙草}・{烟草}】のように、表記方法が複数あるものでも、それが本字か異体字かの違いであるものは一項目とする。

以上の抽出基準をもとに『新明解国語辞典（第八版）』から、敵娼（あいかた）、匕首（あいくち）、石蕗（あおさ）をはじめ

とする熟字訓を 848 語抽出した。

許（2002）で当て字として挙げられている 5 例のうち、「千歳」以外の語は｛ ｝で囲まれていたため、今回の調査で熟字訓として抽出した。「千歳」は「千」を「ち」、「歳」を「とし、とせ」と読むことが出来る。これは〈熟字訓の定義〉の「共時的には分解できそうにない」という点に当てはまらないため、｛ ｝で囲まれていないと考える。

許（2002）の研究では、二字訓読み語の分類に「当て字」という項目が設けられているため、今回抽出した熟字訓と語数が同じ、またはそれ以上であると考えられるが、「当て字」は 23 語であるとされている。この語数の差が生まれた理由は、今回熟字訓として扱った語も、許（2002）では二字音読み語であるとみなされたからである。許（2002）の研究結果では二字音読み語に該当する日中同形語が全体の大半を占めている。（2c）にあるとおり、日本語にいくつかの読み方がある場合、意味に大きな違いがない限り、音読み語だけ抽出しているため、当て字に分類された語が少ないのである。

4.2 日中同形語の抽出

『近代汉语大词典（增订版）（2023)』と『白水社　中国語辞典（2002)』を用いて、**4.1** で抽出した熟字訓 848 語に同じ漢字を使った中国語が存在するかを調査する。許（2002）の調査と揃えるため、『近代汉语大词典（增订版）（2023)』のみを用いた調査を考えていたが、抽出した熟字訓の中に多数出てきた植物名や動物名にあたる語の掲載数が少なかったため、『白水社　中国語辞典（2002)』も併せて用いることとする。

また、抽出にあたって以下の二つの基準を設ける。

（4）　日中同形語の抽出基準

a. 簡体字、繁体字を問わず漢字源が同じであれば同一漢字とする。例えば「幾許（いくばく）」と「几许」は日中同形語である。

b. 日本語に送り仮名がある語の場合、送り仮名を除いた部分と一致するものは同形語とみなす。例えば「狼狽（うろた）える」と「狼狈」は日中同形語である。

（4b）について、許（2002）は送り仮名を持っているものを扱っていなかったが、本稿では扱うこととする。送り仮名を持つものでも日中間で意味が近いものが多く、日中同形語とみなして抽出してよいと考えたからである。

以上の抽出基準をもとに調査すると、熟字訓 848 語のうち日中同形語が 370 語であり、日中同形語でないものが 478 語であることが明らかになった。また、日中同形語の 370 語には日本語表記で送り仮名があるものが 14 語含まれる。

4.3 S、O、D の分類

趙・上原（2017）では、「最も代表的な同形語の分類方法は文化庁の『中国語と対応する

漢語』の分類方法だといわれている。」と述べられている。本稿でもこの分類方法を採用する。文化庁（1978）は日本語の漢語を、中国語との対応関係から、以下のS、O、D、Nの四種類に分類した。

S語（Same）　日中両国語における意味が同じか、または、きわめて近いもの。
O語（Overlap）　日中両国語における意味が一部重なってはいるが、両者の間にずれのあるもの。
D語（Different）　日中両国語における意味が著しく異なるもの。
N語（Nothing）　日本語の漢語と同じ漢字語が中国語に存在しないもの。

本稿では日中同形語の分類をするため、N 語は扱わないものとする。以下に、S・O・Dの代表的な語例をあげる。

〈例〉（日）は日本語、（中）は中国語を表す。
S語：匕首（あいくち）（日）…つばのない短刀。
匕首（中）…短剣または短刀。
O語：経緯（いきさつ）（日）…結果的に現状を引き起こすに至った複雑な内部事情。
经纬（中）…①経度と緯度。②いきさつ。
D語；白地（あからさま）（日）…心中に思っている事をはっきりとわかるように言動や表情に表す様子だ。
白地（中）…①作物を植えていない田畑。②立ち木や家屋のない土地。③白地、無地。

4.2で抽出した日中同形語370語を、S、O、Dに分類した結果を以下の表3に示す。

表3　S、O、Dの分類

分類	S	O	D
語数	213	83	74
比率（%）	57.5	22.4	20.0

表3より、日中同形語の熟字訓はS語が半分以上を占めており最も語数が多いこと、またO語とD語は語数に大きな差がないことが明らかになった。

許（2002）は日中同形語の二字訓読み語について、「同形同義語の数が一番多いのは、日本語から中国に伝わった言葉、日本人が中国語の同じ概念を表す漢字を、訓読み語に当てた言葉が幾分存在しているからであろう。」と論じている。熟字訓を持つ日中同形語についても、S語の数が一番多くなったのは同様の理由によると考えられる。

4.4 時代別の分類

『日本国語大辞典　第二版』を用いて、それぞれの日中同形語が、日本においてどの時代の辞書や書物に初めて掲載されたのかを調査する。調査にあたって以下の三つの基準を設ける。

(5)　日中同形語を時代別に分類する基準

a. 『日本国語大辞典　第二版』のみを参照する。

b. 「解説・用例」欄、「辞書」欄、「表記」欄を参照し、そのうち最も時代の早いものを採用する。

c. 熟字訓の読みで検索するが、記載のない場合は同形語であれば読みは問わないこととする。例えば、「田鼠（もぐら）」の調査をする場合、「もぐら」と入力して検索するが、「田鼠」という表記の記載がない場合は、「田鼠」と入力し「田鼠（でんそ）」として調査する。

以上の基準をもとに、時代別の語数を調査した結果を以下の表 4 に示す。

表 4　時代別の分類（語数）

時代	S	O	D	計
奈良	10	8	1	19
平安	49	24	23	96
鎌倉	1	1	0	2
室町	27	9	10	46
安土桃山	0	1	1	2
江戸	61	17	11	89
明治	60	21	26	107
大正	3	0	1	4
昭和	1	2	1	4
情報なし	1	0	0	1

また、表 4 を比率（%）で表したものを表 5 として以下に示す。

表 5　時代別の分類（比率）

時代	S	O	D	計
奈良	4.7	9.6	1.3	5.1
平安	23.1	28.9	31.0	26.0
鎌倉	0.4	1.2	0	0.5

室町	12.7	10.8	13.5	12.4
安土桃山	0	1.2	1.3	0.5
江戸	28.7	20.4	14.8	24.1
明治	28.3	25.3	35.1	28.9
大正	1.4	0	1.3	1.0
昭和	0.4	2.4	1.3	1.0
情報なし	0.4	0	0	0.2

表 4 より、O 語と D 語の行に注目すると、奈良時代を除いて各時代の語数がおおよそ同じであることが明らかになった。また表 4、表 5 より、日中同形語の熟字訓は特に平安時代、江戸時代、明治時代に初めて辞書や書物に掲載された語が多いことが明らかになった。S 語、O 語、D 語それぞれについても、時代別の比率はおおよそ似たような分布になっている。

鎌倉時代、安土桃山時代、大正時代、昭和時代について、特に語数が少なかった理由を以下のように考える。

（1）『日本国語大辞典　第二版』で取り扱われている辞書のうち、これらの時代に成立したものが少ないこと。
（2）安土桃山時代は年数が短いため、成立した辞書や書物の数がそもそも少ないのではないか。
（3）大正時代、昭和時代は時代が新しいため、これらの時代に初めて辞書や書物に掲載される語は少なくなるのではないか。

（1）については事実であるが、（2）・（3）については推測である。

5．おわりに

5.1　本稿のまとめ

本稿では、熟字訓に焦点を当てた日中同形語の実態を調査した。『新明解国語辞典（第八版）』、中国語は『近代汉语大词典（增订版）』、『白水社　中国語辞典』を用いて調査をした結果、大きく分けて以下の二つのことが分かった。

a. 熟字訓を持つ日中同形語は S 語が最も多い。
b. 熟字訓を持つ日中同形語は S 語、O 語、D 語それぞれについて、時代別の比率はおおよそ似たような分布になる。

a について、熟字訓を持つ日中同形語は S 語の数が半分以上を占め、O 語と D 語の数には大きな差がないことが明らかになった。b について、時代別に分類すると、特に平安時代、

江戸時代、明治時代に分類される語が多く、反対に鎌倉時代、安土桃山時代、大正時代、昭和時代に分類される語は少ないことが明らかになった。

５.２　今後の課題

S 語、O 語、D 語を時代別に分類し、結果について考察したが、現段階では推測の域を出られなかった。また奈良時代に着目すると、S 語、O 語、D 語の比率に大きく差があることが読み取られるが、理由までは調査できなかった。

以上の点については、今後の日中同形語研究において検討の余地があると考え、今後の課題とする。

参考文献

伊地智善継(編)（2002)『白水社 中国語辞典』白水社.

大河内康憲（1992)「日本語と中国語の同形語」『目本語と中国語の対照研究論文集（下)』pp.179-215, くろしお出版.

佐藤喜代治（編）(1977)『国語学研究事典』明治書院.

許　雪華（2014)「日中同形語の量的分析」『或問　WAKUMON』113, No.26,pp.113-122, 関西大学近代東西言語文化接触研究会.

曽根博隆（1988)「日中同形語に関する基礎的考察」『明治学院論叢』424, pp. 61-96.

竹田治美（2005)「「日中同形類義語」について」『人間文化研究科年報』20, pp.335-342.

竹浪　聡（1986)「熟字訓」佐藤喜代治（編)『漢字講座３　漢字と日本語』295-308 明治書院.

趙乾, 上原徳子 (2017)「日本語教科書に収録された日中同形異義語についての一考察―『新編日本語』を対象として―」『宮崎大学教育学部紀要　人文科学』89, pp.35-45.

日本国語大辞典第二版編集委員会, 小学館国語辞典編集部(編)（2001)『日本国語大辞典 第二巻 第二版』小学館.

文化庁（1978)『中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局.

山田忠雄(編)（2020)『新明解国語辞典（第八版)』三省堂.

許少峰(編)（2023)『近代汉语大词典（上冊・中冊・下冊)』商務印書館.

付録

※『白水社 中国語辞典』は『近代汉语大词典』に記載のなかった語の調査に使用したため、『近代汉语大词典』に記載のあった語の欄は空欄になっているものがある。

新明解国語辞典		ページ数	近代汉语大词典	白水社 中国語辞典	分類	時代
敵娼	あいかた	3	×	×		
匕首	あいくち	3	匕首		S	江戸
石蓴	あおさ	9	×	×		
青海苔	あおのり	9	×	×		
水綿	あおみどろ	10	×	×		
泥障	あおり	10	×	×		
障泥	あおり	10	障泥	×	S	平安
赤蜻蛉	あかとんぼ	12	×	×		
白地	あからさま	12	白地		D	平安
偸閑	あからさま	12	×	×		
蜻蛉洲	あきつしま	14	×	×		
灰汁	あく	15	灰汁	×	O	平安
欠伸	あくび	17	欠伸		S	江戸
胡床	あぐら	17	胡床	×	S	奈良
胡坐	あぐら	17	×	×		
胡座	あぐら	17	×	×		
扶座	あぐら	17	×	×		
寛居	あぐら	17	×	×		
箕居	あぐら	17	×	×		
通草	あけび	19	通草	×	D	平安
山女	あけび	19	×	×		
総角	あげまき	19	总角	×	S	平安
明後日	あさって	21	×	×		
水豹	あざらし	21	×	×		
海豹	あざらし	21	×		S	明治
海馬	あしか	22	×		D	安土
海驢	あしか	22	×		S	江戸
紫陽花	あじさい	23	×	×		
明日	あした、あす	23	明日		O	平安
馬酔木	あしび、あせび	24	×	×		

飛鳥時代	あすかじだい	24	×	×		
赤豆	あずき	24	×	×		
小豆	あずき	24	×		S	平安
赤小豆	あずき	24	×		S	室町
翌檜	あすなろ	25	×	×		
焦燥り	あせり	26	焦燥		D	江戸
朝臣	あそん	26	×	×		
可惜	あたら、あったら	28	可惜		O	平安
哥兄	あにい	36	×	×		
痘痕	あばた、いも	37	×	×		
家鴨	あひる	37	×		S	江戸
信天翁	あほうどり	39	×		S	江戸
漁人	あま	39	漁人	×	D	平安
海人	あま	39	×	×		
海士	あま	39	×	×		
海女	あま	39	×	×		
白水郎	あま	39	×	×		
数多	あまた	40	×	×		
天漢	あまのがわ	41	×	×		
銀河	あまのがわ	41	×		S	平安
醤蝦	あみ	42	×	×		
糠蝦	あみ	42	×	×		
水黽	あめんぼ	43	×	×		
水馬	あめんぼ	43	×	×		
菖蒲	あやめ	44	×		S	鎌倉
年魚	あゆ	44	×	×		
香魚	あゆ	44	×	×		
銀口魚	あゆ	44	×	×		
細鱗魚	あゆ	44	×	×		
周章てる	あわてる	52	周章		O	平安
許嫁	いいなずけ	61	×	×		
従道	いうならく	62	×	×		
説道	いうならく	62	×		S	江戸
烏賊	いか	63	×		S	奈良

栗刺	いが	63	×	×		
紙鳶	いか、いかのぼり	65	纸鸢		S	江戸
如何	いかが、いかん、どう	64	如何		O	平安
玉筋魚	いかなご	64	×		S	江戸
斑鳩	いかる	65	×	×		
経緯	いきさつ	67	×		O	昭和
幾多	いくそばく	69	几多	×	S	平安
幾何	いくそばく、いくばく	69	几何		O	平安
幾許	いくばく	69	几许		O	奈良
犠牲	いけにえ	70	牺牲		O	平安
不知	いさ、しらず	71	不知		O	奈良
十六夜	いざよい	71	×	×		
首魚	いしもち	73	×	×		
悪戯	いたずら	77	×	×		
無花果	いちじく	81	×		S	江戸
鳶尾	いちはつ	82	×		S	室町
苗麻	いちび	83	×	×		
銀杏	いちょう	84	×		O	室町
公孫樹	いちょう	84	×		S	室町
何時	いつ	85	×	×		
流連	いつづけ	91	流连		D	室町
温泉	いでゆ	94	×		S	平安
最愛しい	いとおしい	95	×	×		
従兄弟	いとこ	95	×		D	平安
従兄	いとこ	95	×		D	明治
従姉妹	いとこ	95	×	×		
従父兄弟	いとこ	95	×	×		
従父姉妹	いとこ	95	×	×		
従母兄弟	いとこ	95	×	×		
従母姉妹	いとこ	95	×	×		
従弟	いとこ	95	×	×		

従姉	いとこ	95	×	×		
従妹	いとこ	95	×	×		
遊糸	いとゆう	96	游丝		D	江戸
田舎	いなか	96	×	×		
生命	いのち	98	生命		S	江戸
水蠟	いぼた	100	×	×		
疱瘡	いも	102	×	×		
稲熱病	いもちびょう	102	×	×		
蠑螈	いもり、とかげ	102	×		O	明治
守宮	いもり、やもり	102	守宮	×	D	平安
入用	いり	104	×	×		
入費	いり	104	×	×		
海参	いりこ	104	×		S	平安
江豚	いるか	106	×	×		
海豚	いるか	106	×		S	江戸
刺青	いれずみ	106	×	×		
文身	いれずみ	106	文身		S	江戸
所謂	いわゆる	109	×		O	奈良
親族	うから	120	×		S	江戸
浮子	うき	120	浮子		S	平安
浮木	うき	120	×	×		
石斑魚	うぐい	121	×	×		
五茄	うこぎ	123	×	×		
五加	うこぎ	123	○	×	S	江戸
大人	うし、おとな	123	大人		O	平安
泡沫	うたかた	127	×		S	平安
沫雨	うたかた	127	×	×		
裲襠	うちかけ	128	×		D	平安
団扇	うちわ	131	×		S	平安
独活	うど	134	×	×		
善知鳥	うとう	134	×	×		
海胆	うに	135	×		S	平安
海栗	うに	135	×	×		
乳母	うば、おんば、めのと	135	乳母		S	平安

薔薇	うばら、ばら	135	×		S	江戸
初心	うぶ	135	×	×		
上手い	うまい	136	上手		O	奈良
苜蓿	うまごやし	136	×		D	室町
石女	うまずめ	136	石女		S	江戸
守瓜	うりばえ	142	×	×		
鰹鯖	うるか	142	×	×		
五月蠅い	うるさい	142	×	×		
狼狽える	うろたえる	143	狼狽		O	明治
後妻	うわなり	144	×	×		
蟒蛇	うわばみ	144	×		S	江戸
浮塵子	うんか	145	×	×		
画家	えかき	152	×		S	江戸
似非	えせ	155	×	×		
似而非	えせ	155	×	×		
干支	えと	157	×		S	江戸
胞衣	えな	158	胞衣		S	平安
金雀児	えにしだ	158	×	×		
金雀枝	えにしだ	158	×	×		
海老	えび	158	×	×		
葡萄	えび	159	×		S	明治
美味しい	おいしい	170	×		S	明治
花魁	おいらん	171	花魁		O	明治
車前草	おおばこ	181	×	×		
可笑しい	おかしい	184	可笑		O	鎌倉
女将	おかみ	184	×	×		
内儀	おかみ	184	×	×		
一昨々年	おきおととし	588	×	×		
晩稲	おくて	187	×		S	平安
晩熟	おくて	187	×		S	明治
上気	おくび	187	上气	×	D	平安
噯気	おくび	187	×		S	江戸
白朮	おけら	188	×		S	奈良
蒼朮	おけら	188	×		S	明治
螻蛄	おけら、けら	188	螻蛄		O	明治

海髪	おご	189	×	×		
粔籹	おこし	189	粔籹		D	明治
虎魚	おこぜ	189	×	×		
伯父	おじ	191	×		O	平安
叔父	おじ	191	×		S	平安
御祖父さん	おじいさん	191	×	×		
含羞草	おじぎそう	192	×	×		
小父さん	おじさん	192	×	×		
鴛鴦	おしどり	193	×		S	室町
襁褓	おしめ	193	×		O	明治
白粉	おしろい	194	×	×		
押忍	おす	194	×	×		
仰有る	おっしゃる	199	×	×		
良人	おっと	199	良人		O	江戸
一昨日	おとつい、おととい	202	×	×		
大殿	おとど	202	×		D	明治
大臣	おとど	202	×		S	室町
伯母	おば	205	×		O	平安
叔母	おば	205	×		S	平安
御祖母さん	おばあさん	205	×	×		
十八番	おはこ	205	×	×		
小母さん	おばさん	205	×	×		
未通女	おぼこ	208	×	×		
御虎子	おまる	209	×	×		
虎子	おまる	209	虎子	×	S	江戸
女郎花	おみなえし	209	×	×		
御襁褓	おむつ	209	×	×		
以為	おもえらく	212	×		D	奈良
沢瀉	おもだか	212	×	×		
玩具	おもちゃ	212	玩具		S	明治
万年青	おもと	213	×		S	江戸
老爺	おやじ	214	老爷		D	明治

女形	おやま	215	×	×		
大蛇	おろち	219	×	×		
鶻鷸	かいつぶり	239	×	×		
案山子	かかし	248	×	×		
鹿驚	かかし	248	×	×		
大蚊	ががんぼ	250	×	×		
石花	かき	250	×	×		
牡蠣	かき	250	×		S	江戸
杜若	かきつばた	251	×	×		
燕子花	かきつばた	251	×	×		
陽炎	かぎろい、かげろう	253	×	×		
破片	かけら	264	×	×		
野馬	かげろう	264	×		D	平安
蜉蝣	かげろう	264	×		S	江戸
蜻蛉	かげろう、とんぼ	264	×	×		
水夫	かこ	265	水夫	×	D	明治
水主	かこ	265	×	×		
水手	かこ	265	水手		S	明治
駕籠	かご	265	×	×		
頭花	かざし	267	×	×		
挿頭す	かざす	267	×		D	明治
蝤蛑	がざみ	267	×		S	室町
河岸	かし	268	×	×		
鍛冶	かじ	268	×	×		
杜父魚	かじか	268	×	×		
未滑海藻	かじめ	270	×	×		
被衣	かずき	273	×	×		
衣被	かずき	273	×	×		
被く	かずく	273	×	×		
飛白	かすり	273	飞白	×	D	明治
風邪	かぜ	274	×	×		
乞食	かたい	277	×	×		
楷模	かたぎ	278	楷模		D	平安

気質	かたぎ	278	气质		O	江戸
蝸牛	かたつむり	279	×		S	明治
酢漿草	かたばみ	280	×	×		
酢醤草	かたばみ	280	×	×		
鳩酸草	かたばみ	280	×	×		
酢母草	かたばみ	280	×	×		
帷子	かたびら	280	×		D	室町
記念	かたみ	281	记念		O	江戸
歩行	かち	282	×		S	奈良
徒士	かち	282	×	×		
松魚	かつお	284	×	×		
首途	かどで	291	×	×		
金糸雀	かなりあ	293	×		S	大正
黒歯	かね	293	×	×		
鉄漿	かね	293	×	×		
曲尺	かねざし	294	×		S	江戸
南瓜	かぼちゃ	298	×		S	江戸
蟷螂	かまきり	299	×	×		
梭魚	かます	300	×		D	明治
天牛	かみきりむし	301	×		S	江戸
内儀さん	かみさん	301	×	×		
椿象	かめむし	303	×		S	
羚羊	かもしか	303	羚羊		O	江戸
機関	からくり	306	机关		O	江戸
連枷	からざお	306	×		S	平安
硝子	がらす	307	×	×		
鱶子	からすみ	307	×	×		
身体	からだ	307	×		S	大正
枳殻	からたち	307	×	×		
臭橘	からたち	307	×	×		
落葉松	からまつ	308	×	×		
苧麻	からむし	308	×		S	江戸
苟且	かりそめ	310	苟且		O	江戸
榠樝	かりん	311	×		S	江戸
骨牌	かるた	312	×		D	江戸

為替	かわせ	315	×	×		
翡翠	かわせみ	315	×		S	室町
土器	かわらけ	316	×	×		
惟神	かんながら	332	×	×		
随神	かんながら	332	×	×		
細螺	きさご	349	×	×		
梓木	きささげ	350	×	×		
如月	きさらぎ	350	×	×		
煙管	きせる	355	×	×		
吉左右	きっそう	359	×	×		
啄木	きつつき	359	×	×		
啄木鳥	きつつき、けら	359	×		S	江戸
半銭	きなか	361	×	×		
後朝	きぬぎぬ	361	×	×		
昨日	きのう	362	×		S	室町
肌理	きめ	366	×		S	江戸
今日	きょう	380	×		S	平安
姉妹	きょうだい、はらから	388	姊妹		S	明治
雲母	きら、きらら	398	云母		S	平安
雪花菜	きらず	398	×	×		
螽斯	きりぎりす	400	×		S	奈良
蟋蟀	きりぎりす、こおろぎ	400	×		S	平安
金海鼠	きんこ	407	×	×		
毛莨	きんぽうげ	411	×	×		
水鶏	くいな	414	水鸡	×	D	平安
探湯	くかたち	418	探汤	×	D	明治
盟神探湯	くかたち	418	×			
傀儡	くぐつ	419	傀儡		O	平安
傀儡子	くぐつ	419	×	×		
草臥れる	くたびれる	425	×	×		
百済	くだら	425	×	×		
香橘	くねんぼ	431	×	×		
馘首	くび	431	×	×		

茱萸	ぐみ	432	×		O	室町
胡頽子	ぐみ	432	×	×		
蜘蛛	くも	434	×		S	平安
口惜しい	くやしい	434	×	×		
水母	くらげ	435	×		S	平安
海月	くらげ	435	×	×		
胡桃	くるみ	441	×		S	平安
烏芋	くわい	445	×	×		
慈姑	くわい	445	×		S	江戸
今朝	けさ	462	×		D	平安
罌粟	けし	463	×		S	江戸
蚰蜒	げじげじ、なめくじ	463	蚰蜒		S	江戸
蝙蝠	こうもり	519	×		S	室町
蚓	こおろぎ	524	×		D	室町
蜻蛉	こおろぎ	524	×	×		
沙蚕	ごかい	524	×	×		
蜚蠊	ごきぶり	526	×		S	明治
秋桜	こすもす	541	×	×		
瞽女	ごぜ	541	×	×		
東風	こち	544	东风		O	安土
洋杯	こっぷ	547	×	×		
二合半	こなから	551	×	×		
海鼠腸	このわた	553	×	×		
辛夷	こぶし	555	×		D	室町
乾児	こぶん	555	×	×		
独楽	こま	556	×	×		
氷魚	こまい	557	×	×		
氷下魚	こまい	557	×	×		
高麗鼠	こまねずみ	557	×	×		
塵芥	ごみ	558	×	×		
蟀谷	こめかみ	559	×	×		
顳顬	こめかみ	559	×		S	明治
無頼	ごろつき	564	无赖		O	平安

破落戸	ごろつき、ならずもの	564	破落戸	×	O	明治
更衣	ころもがえ	565	×		O	平安
皁角	さいかち	576	皂角	×	S	室町
皁莢	さいかち	576	×		S	明治
五月少女	さおとめ	586	×	×		
月代	さかやき	588	×	×		
主典	さかん	588	×	×		
一昨々日	さきおととい	588	×	×		
防人	さきもり	590	×	×		
安石榴	ざくろ	593	×		S	平安
雑魚	ざこ、じゃこ	594	×	×		
小竹	ささ	594	×	×		
栄螺子	さざえ	594	×	×		
栄螺	さざえ	594	×	×		
大角豆	ささげ	594	×	×		
小角豆	ささげ	594	×	×		
白角豆	ささげ	594	×	×		
流石	さすが	598	×	×		
流離う	さすらう	599	流离		O	奈良
運命	さだめ	600	×	×		
遮莫	さばれ、さもあらばあれ	605	遮莫	×	O	平安
覇王樹	さぼてん	607	×	×		
仙人掌	さぼてん	607	×		S	明治
朱欒	ざぼん	607	×	×		
彷徨う	さまよう	607	彷徨		O	奈良
五月雨	さみだれ	607	×	×		
細魚	さより	609	×	×		
針魚	さより	609	×	×		
復習う	さらう	609	×		S	明治
百日紅	さるすべり	611	×	×		
髑髏	されこうべ、しゃれこうべ	611	髑髏		S	室町
秋刀魚	さんま	623	×	×		

明々後日	しあさって	625	×	×		
加之	しかのみならず	636	×		S	平安
時雨	しぐれ	642	×	×		
舳艫	じくろ	642	×		S	奈良
沈黙	しじま	647	×		O	昭和
静寂	しじま	647	×		S	明治
無言	しじま	647	×		S	明治
柳葉魚	ししゃも	647	×	×		
倭文	しず	650	×	×		
羊歯	しだ	655	×	×		
姿態	しな	670	姿态		D	明治
嬌態	しな	670	×	×		
竹刀	しない	670	×	×		
老舗	しにせ	671	×	×		
老肆	しにせ	671	×	×		
東雲	しののめ	672	×	×		
飛沫	しぶき	676	×	×		
衣魚	しみ	680	×		S	平安
紙魚	しみ	680	×		S	平安
白魚	しみ	680	×	×		
注連	しめ	681	×	×		
七五三縄	しめなわ	682	×	×		
射干	しゃが	685	×	×		
胡蝶花	しゃが	685	×	×		
吃逆	しゃっくり	691	×	×		
噦噎	しゃっくり	691	×	×		
逆気	しゃっくり	691	×	×		
軍鶏	しゃも	693	×	×		
闘鶏	しゃも	693	×	×		
砂利	じゃり	694	×	×		
三鞭酒	しゃんぱん	695	×	×		
背負う	しょう	728	×		O	江戸
漏斗	じょうご	738	漏斗		O	江戸
塩汁	しょっつる	764	×	×		
不識	しらず	767	不识		O	江戸

不知火	しらぬい	768	×	×		
首級	しるし	771	首级		S	江戸
甚兵衛	じんべえ	791	×	×		
忍冬	すいかずら	795	×	×		
葱冬	すいかずら	795	×	×		
芋茎	ずいき	796	×	×		
酸模	すいば、すかんぽ	800	×		S	明治
木菟	ずく、みみずく	807	×	×		
木菟入	ずくにゅう	808	×	×		
生糸	すずし	812	×	×		
生絹	すずし	812	×	×		
蘿蔔	すずしろ	812	萝蔔		S	江戸
魑魅	すだま	814	魑魅		O	平安
清汁	すまし	823	×	×		
角力	すもう	824	角力		O	江戸
角觝	すもう	824	角觝	×	D	江戸
相撲	すもう	824	相扑		S	室町
掏児	すり	825	×	×		
海象	せいうち	830	×		S	明治
傴僂	せむし	860	伛偻		O	明治
煎汁	せんじ	869	×	×		
紫萁	ぜんまい	878	×	×		
弾発	ぜんまい	878	×	×		
撥条	ぜんまい、ばね	878	×	×		
弾機	ぜんまい、ばね	878	×	×		
発条	ぜんまい、ばね	878	×		S	明治
続飯	そくい	898	×	×		
若干	そくばく、そこばく	900	若干		O	奈良
許多	そくばく、そこばく	900	许多		O	室町
内障	そこひ	902	×		S	室町
当時	そのかみ	907	当时		O	平安
蕎麦	そば	908	×		S	室町

雀斑	そばかす	908	雀斑		S	明治
松明	たいまつ	934	松明		S	平安
鉄樹	たがやさん	940	×		D	江戸
鉄刀木	たがやさん	940	×	×		
胼胝	たこ	945	×		S	江戸
章魚	たこ	945	×		S	江戸
担桶	たご	945	×	×		
出汁	だし	946	×	×		
山車	だし、だんじり	946	×	×		
方便	たずき、たつき	948	方便		D	江戸
活計	たずき、たつき	948	活计		O	明治
黄昏	たそがれ	948	黄昏		S	明治
和土	たたき	949	×	×		
三和土	たたき	949	三和土	×	S	大正
蹈鞴	たたら	950	×	×		
踏鞴	たたら	950	×	×		
太刀	たち	951	×	×		
殺陣	たて	957	×	×		
伊達	だて	957	×	×		
畳紙	たとう	959	×	×		
仮令	たとえ、たとい	959	假令	×	D	平安
七夕	たなばた	960	×		S	室町
種子	たね	960	×		O	江戸
烟草	たばこ	962	×		S	江戸
足袋	たび	962	×	×		
弾丸	たま	964	×		D	明治
銃丸	たま	964	×	×		
撞球	たまつき	965	×	×		
躊躇う	ためらう	967	踌躇		O	明治
大口魚	たら	969	×	×		
束子	たわし	971	×	×		
車楽	だんじり	977	×	×		
楽車	だんじり	977	×	×		
蒲公英	たんぽぽ	981	×		S	江戸
乾酪	ちーず	983	×	×		

扛秤	ちぎり	986	×	×		
萵苣	ちさ、ちしゃ	988	×		S	平安
矮鶏	ちゃぼ	995	×	×		
手水	ちょうず	1007	×	×		
手斧	ちょうな	1009	×	×		
鳥渡	ちょっと	1014	×	×		
一寸	ちょっと	1014	×	×		
草石蚕	ちょろぎ	1014	×	×		
身柱	ちりけ	1015	×	×		
天柱	ちりけ	1015	×	×		
銚釐	ちろり	1016	×	×		
朔日	ついたち	1020	×		S	室町
一日	ついたち	1020	×	×		
梅雨入り	ついり	1020	×	×		
土筆	つくし	1029	×	×		
天花菜	つくし	1029	×	×		
九十九髪	つくもがみ	1029	×	×		
黄楊	つげ	1030	×		S	平安
柘植	つげ	1030	×	×		
晦日	つごもり	1032	晦日	×	S	室町
躑躅	つつじ	1034	×		D	平安
杜鵑花	つつじ	1034	×	×		
映山紅	つつじ	1034	×		S	江戸
美人局	つつもたせ	1035	美人局	×	O	明治
葛籠	つづら	1035	×	×		
鹿角菜	つのまた	1036	×	×		
山茶	つばき	1037	×		S	明治
紡錘	つむ	1040	×	×		
紡車	つむ	1040	×		S	明治
旋毛	つむじ	1040	×	×		
心算	つもり	1041	×		D	明治
光沢	つや	1041	×		S	江戸
梅雨	つゆ	1041	梅雨		S	江戸
雪柱	つらら	1042	×		S	室町
氷柱	つらら	1042	×	×		

徒然	つれづれ	1044	徒然		D	平安
石蕗	つわぶき	1044	×	×		
橐吾	つわぶき	1044	×	×		
悪阻	つわり	1044	×		O	平安
刑事	でか	1056	×		S	明治
木偶	でく	1060	木偶		O	江戸
天蚕糸	てぐす	1060	×	×		
礬水	どうさ	1094	×	×		
礬石	どうさ	1094	×	×		
礬沙	どうさ	1094	×	×		
満天星	どうだんつつじ	1098	満天星	×	D	明治
左右	とかく、とこう、とにかく	1107	左右		O	明治
蜥蜴	とかげ	1107	×		S	平安
竜子	とかげ	1107	×	×		
朱鷺	とき	1108	×	×		
紅鶴	とき	1108	×	×		
桃花鳥	とき	1108	×	×		
鯨浪	ときのこえ	1108	×	×		
鯨波	ときのこえ	1108	×	×		
顧客	とくい	1110	×		S	明治
木賊	とくさ	1110	×	×		
蕺草	どくだみ	1113	×	×		
自鳴鐘	とけい	1115	×	×		
野老	ところ	1116	野老	×	D	平安
心太	ところてん	1117	×	×		
泥鰌	どじょう	1119	×		S	明治
褞袍	どてら	1125	×	×		
胡獏	とど	1125	×	×		
馴鹿	となかい	1126	×		S	明治
舎人	とねり	1126	×	×		
秦皮	とねりこ	1126	×	×		
濁酒	どぶろく	1129	浊酒	×	S	室町
濁醪	どぶろく	1129	浊醪	×	S	江戸
白馬	どぶろく	1129	×	×		

白楊	どろのき、どろやなぎ	1141	×		S	明治
薯蕷	とろろ、やまのいも	1141	×	×		
永遠	とわ	1141	×		O	明治
永久	とわ	1141	×		S	明治
蜻蜓	とんぼ、やんま	1144	×		S	明治
地震	ない	1146	×		S	奈良
等閑	なおざり	1149	等闲		O	平安
就中	なかんずく	1153	就中		O	平安
竹柏	なぎ	1153	×	×		
長刀	なぎなた	1154	×	×		
薙刀	なぎなた	1154	×	×		
承塵	なげし	1155	chéngchén	×	D	平安
長押	なげし	1155	×	×		
余波	なごり	1156	×	×		
何故	なぜ	1158	×	×		
雪崩	なだれ	1158	×		S	室町
瞿麦	なでしこ	1160	×	×		
浪花	なにわ	1162	×		D	大正
海鼠	なまこ	1164	×	×		
生海鼠	なまこ	1164	×	×		
蛞蝓	なめくじ	1166	×		S	平安
無頓漢	ならずもの	1167	×	×		
家業	なりわい	1169	家业		D	平安
産業	なりわい	1169	产业		D	平安
生活	なりわい	1169	生活		O	平安
生業	なりわい	1169	生业		S	明治
苦塩	にがり	1177	×	×		
苦汁	にがり	1177	×	×		
面皰	にきび	1178	×	×		
鰾膠	にべ	1186	×	×		
行潦	にわたずみ	1192	×	×		
潢潦	にわたずみ	1192	×	×		
大蒜	にんにく	1194	×		S	明治

零余子	ぬかご、むかご	1195	×	×		
泥濘	ぬかるみ	1195	泥泞		S	明治
勒犬	ぬくてー	1196	×	×		
白膠木	ぬるで	1198	×	×		
螺旋	ねじ	1202	×		D	明治
螺子	ねじ	1201	×	×		
捩子	ねじ	1202	×	×		
螺釘	ねじ	1202	×		S	明治
杜松	ねず	1202	×	×		
強請る	ねだる	1203	×	×		
合歓	ねぶ	1205	×		O	明治
合歓木	ねむのき	1206	×	×		
夜合樹	ねむのき	1206	×	×		
直衣	のうし	1212	×	×		
凌霄花	のうぜんかずら	1212	×		S	室町
熨斗	のし	1215	熨斗		O	平安
野幇間	のだいこ	1216	×	×		
長閑	のどか	1218	×	×		
逆上せる	のぼせる	1220	×	×		
而已	のみ	1220	而已		S	室町
海苔	のり	1222	×	×		
祝詞	のりと	1222	×		S	奈良
祝女	のろ	1223	×	×		
狼煙	のろし	1223	狼烟		O	室町
烽火	のろし	1223	烽火		O	室町
売女	ばいた	1233	×	×		
南風	はえ	1237	×	×		
果敢無い	はかない	1239	×	×		
刷子	はけ	1245	×	×		
髪筆	はけ	1245	×	×		
雁来紅	はげいとう	1245	×		S	明治
蘩縷	はこべ	1247	×	×		
蘩蔞	はこべ	1247	×	×		
稲架	はさ、はせ	1247	×	×		
黄櫨	はじ、はぜ	1248	×		S	平安

麻疹	はしか	1248	×		S	江戸
痲疹	はしか	1248	×	×		
赤瘢	はしか	1248	×	×		
隠疹	はしか	1248	×	×		
沙魚	はぜ	1252	×		D	明治
霹靂	はたかがみ	1254	霹雳		O	平安
旅籠	はたご	1253	×	×		
裸足	はだし	1253	×	×		
徒跣	はだし	1253	×	×		
跣足	はだし	1253	跣足	×	S	昭和
二十歳	はたち	1254	×	×		
蝮蚸	はたはた	1254	×	×		
蝗虫	ばった	1261	×		O	明治
飛蝗	ばった	1261	飞蝗		O	明治
再従兄弟	はとこ	1264	×	×		
三従兄弟	はとこ	1264	×	×		
含羞む	はにかむ	1269	×		S	明治
弾力	ばね	1269	×		D	明治
棠棣	はねず	1270	×		O	江戸
唐棣	はねず	1270	×		O	明治
朱華	はねず	1270	×	×		
蔓延る	はびこる	1271	蔓延		O	明治
馬銜	はみ	1272	马衔	×	D	明治
流行	はやり	1275	×		S	明治
時花る	はやる	1275	×	×		
荊棘	ばら	1275	荆棘		O	江戸
兄弟	はらから	1276	兄弟		O	奈良
同胞	はらから	1276	同胞		O	江戸
蒸餅	ぱん	1283	蒸饼		D	明治
麺包	ぱん	1283	×		D	明治
麺麭	ぱん	1283	×	×		
麦餅	ぱん	1283	×	×		
蒸麦餅	ぱん	1283	×	×		
洋琴	ぴあの	1295	×		S	明治
麦酒	びーる	1298	×	×		

落籍す	ひかす	1300	×	×		
蟾蜍	ひきがえる	1302	蟾蜍		O	平安
魚籠	びく	1305	鱼笼	×	D	明治
魚籃	びく	1305	×	×		
笭箵	びく	1305	笭箵		S	明治
茅蜩	ひぐらし	1305	×	×		
提下	ひさげ	1307	×	×		
鹿尾菜	ひじき	1308	×	×		
海鹿	ひじき	1308	×	×		
短銃	ぴすとる	1310	×	×		
一向	ひたすら	1312	一向		O	室町
只管	ひたすら	1312	只管		O	江戸
喫驚	びっくり	1314	×	×		
吃驚	びっくり	1314	吃惊		S	明治
他人	ひと	1317	×		S	室町
単衣	ひとえ	1318	×		S	平安
海燕	ひとで	1320	×		D	江戸
海盤車	ひとで	1320	×		S	明治
海星	ひとで	1320	×		S	明治
天生	ひととなり	1321	×		D	平安
為人	ひととなり	1321	为人		O	明治
天性	ひととなり	1321	×		S	平安
為性	ひととなり	1321	×	×		
終日	ひねもす	1324	×		S	平安
終朝	ひねもす	1324	×	×		
尽日	ひねもす	1324	×	×		
雲雀	ひばり	1325	×		S	平安
向日葵	ひまわり	1327	×		S	明治
素見す	ひやかす	1328	×	×		
顋門	ひよめき	1336	×	×		
顖門	ひよめき	1336	囟门		S	明治
比目魚	ひらめ	1338	×		S	明治
領巾	ひれ	1339	×		D	平安
肩巾	ひれ	1339	×	×		
天鵞絨	びろーど	1340	×		S	江戸

河豚	ふぐ	1358	河豚		S	江戸
鯸鮠	ふぐ	1358	×	×		
陰嚢	ふぐり	1362	阴囊	×	S	平安
雲脂	ふけ	1362	×	×		
髪垢	ふけ	1362	×	×		
巫山戯る	ふざける	1364	×	×		
相応しい	ふさわしい	1364	相应		S	明治
五倍子	ふし	1364	×		S	室町
不貞る	ふてる	1376	×	×		
山毛欅	ぶな	1378	×	×		
海蘿	ふのり	1379	×	×		
吹雪	ふぶき	1379	×	×		
鞦韆	ぶらんこ	1385	鞦韆		S	明治
犢鼻褌	ふんどし	1400	犢鼻裤	×	D	江戸
筆規	ぶんまわし	1401	×	×		
下手	へた	1410	下手		D	室町
糸瓜	へちま	1411	×		S	江戸
子子	ぼうふら	1436	子子	×	D	明治
子子	ぼうふら	1436	子孑		S	明治
黒子	ほくろ	1442	×		O	室町
榾柮	ほた	1447	榾柮		S	明治
郭公	ほととぎす	1451	郭公	×	D	平安
杜鵑	ほととぎす	1451	×		S	平安
子規	ほととぎす	1451	×		S	平安
不如帰	ほととぎす	1451	×	×		
時鳥	ほととぎす	1451	×	×		
海鞘	ほや	1454	×	×		
小火	ぼや	1454	×	×		
母衣	ほろ	1456	×	×		
襤褸	ぼろ	1456	×		S	明治
喞筒	ぽんぷ	1461	×	×		
雪洞	ぼんぼり	1461	×	×		
賄賂	まいない	1464	×		S	平安
海人草	まくり	1470	×	×		
海仁草	まくり	1470	×	×		

真面目	まじめ	1472	×		D	明治
不味い	まずい	1473	×	×		
老成る	ませる	1474	老成		D	明治
木天蓼	またたび	1475	×	×		
驀地	まっしぐら	1478	蓦地		S	明治
燐寸	まっち	1479	×	×		
微睡む	まどろむ	1481	×	×		
随意	まにまに	1482	×		D	室町
忠実	まめ	1484	×		O	明治
達者	まめ	1484		×		
肉刺	まめ	1484	×	×		
榲桲	まるめろ	1487	×	×		
周囲	まわり	1487	×		S	明治
稜威	みいつ	1492	×	×		
親王	みこ	1495	×		S	平安
巫女	みこ	1495	×	×		
皇女	みこ	1495	×	×		
稈心	みご	1495	×	×		
雎鳩	みさご	1496	×	×		
鳩尾	みずおち、みぞおち	1497	×	×		
不見転	みずてん	1499	×	×		
針孔	みぞ、めど	1501	×	×		
未曽有	みぞう	1501	×	×		
鷦鷯	みそさざい	1501	×		S	室町
千屈菜	みそはぎ	1501	×	×		
鼠尾草	みそはぎ	1501	×	×		
陸奥	みちのく	1503	×	×		
兎唇	みつくち	1504	×		S	明治
孤児	みなしご	1506	×		S	明治
地竜	みみず	1509	地龙		D	室町
蚯蚓	みみず	1509	×		S	平安
歌女	みみず	1509	×	×		
土竜	みみず、もぐら	1509	×	×		
土産	みやげ	1510	土产		O	江戸

行幸	みゆき	1511	×	×		
女夫	みょうと	1512	女夫	×	D	江戸
妻夫	みょうと	1512	妻夫	×	S	室町
夫婦	みょうと、めおと	1512	×		S	明治
船首	みよし	1512	×	×		
海松	みる	1513	×	×		
水松	みる	1513	×	×		
蜈蚣	むかで	1516	×		S	平安
百足	むかで	1516	百足	×	S	平安
行縢	むかばき	1516	×	×		
木槿	むくげ	1518	×		S	室町
浮腫	むくみ	1518	浮肿		S	江戸
無患子	むくろじ	1518	×	×		
木患子	むくろじ	1518	×	×		
鼯鼠	むささび、ももんが	1520	×		S	平安
六々敷	むずかし	1522	×	×		
六借	むずかし	1522	×	×		
郁子	むべ	1527	×	×		
鑑定	めがね	1536	×		D	明治
鑑識	めがね	1536	鉴识	×	S	江戸
鍍金	めっき	1539	镀金		S	江戸
赤目魚	めなだ	1540	×	×		
甲乙	めりかり	1542	甲乙	×	D	江戸
莫大小	めりやす	1542	×	×		
虎落	もがり	1550	×	×		
田鼠	もぐら	1551	×		D	江戸
鼹鼠	もぐら	1551	×		S	江戸
百舌	もず	1553	×	×		
百舌鳥	もず	1553	×	×		
伯労	もず	1553	×	×		
水雲	もずく	1553	×	×		
海雲	もずく	1553	×	×		
抵牾く	もどく	1558	抵牾		D	明治

武士	もののふ	1561	×		O	室町
紅葉	もみじ	1562	×		S	平安
黄葉	もみじ	1562	×	×		
催合	もやい	1563	×	×		
蜀黍	もろこし	1565	×		S	江戸
唐土	もろこし	1565	×	×		
大唐	もろこし	1565	×	×		
唐黍	もろこし	1565	×	×		
筋斗	もんどり	1567	筋斗		D	室町
翻筋斗	もんどり	1567	翻筋斗		D	明治
山羊	やぎ	1569	×		O	明治
犛牛	やく	1571	×		S	江戸
自棄	やけ	1573	×	×		
熱傷	やけど	1574	×	×		
火傷	やけど	1574	×		S	明治
水蠆	やご	1574	×		S	江戸
香具師	やし	1575	×	×		
玄孫	やしゃご	1575	玄孫		S	江戸
寄生	やどり	1579	×		D	平安
胡籙	やなぐい	1579	×	×		
箙籙	やなぐい	1579	×	×		
箙箙	やなぐい	1579	×	×		
流鏑馬	やぶさめ	1580	×	×		
赤楝蛇	やまかがし	1581	×	×		
日本	やまと	1582	×		S	江戸
大和	やまと	1582	×	×		
薯蕷	やまのいも	1582	×	×		
寡婦	やもめ	1584	寡妇		S	平安
壁虎	やもり	1584	×		S	江戸
木綿	ゆう	1587	×	×		
昨夜	ゆうべ	1594	昨夜		S	明治
昨夕	ゆうべ	1594	×	×		
所以	ゆえん	1595	所以		O	室町
内衣	ゆかた	1595	×		D	平安
浴衣	ゆかた	1595	×		D	昭和

明衣	ゆかた	1595	×	×		
所縁	ゆかり	1596	×	×		
梅桃	ゆすら	1598	×	×		
英桃	ゆすら	1598	×	×		
山桜桃	ゆすら	1598	×		S	江戸
強迫	ゆすり	1598	×		O	明治
寄席	よせ	1617	×	×		
黄泉	よみ	1621	黄泉		S	奈良
通夜	よもすがら	1622	×		S	奈良
竟夜	よもすがら	1622	竟夜	×	S	平安
終夜	よもすがら	1622	×	×		
蹌踉ける	よろける	1624	跄踉		S	江戸
栗鼠	りす	1640	×	×		
公魚	わかさぎ	1686	×	×		
和布	わかめ	1687	×	×		
没分暁漢	わからずや	1687	×	×		
狐臭	わきが	1688	狐臭		S	江戸
山葵	わさび	1690	×	×		
山薑	わさび	1690	×	×		
勿忘草	わすれなぐさ	1691	×	×		
早稲	わせ	1691	×		S	明治
早生	わせ	1691	×	×		
海神	わたつみ	1692	×	×		
移徙	わたまし	1692	×	×		
戦慄く	わななく	1693	战慄、战栗		S	明治
草鞋	わらじ	1695	草鞋		D	室町